

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>  
神奈川県衛生研究所

## 第297号

平成29年9月20日発行  
病原体検出は平成29年7月分

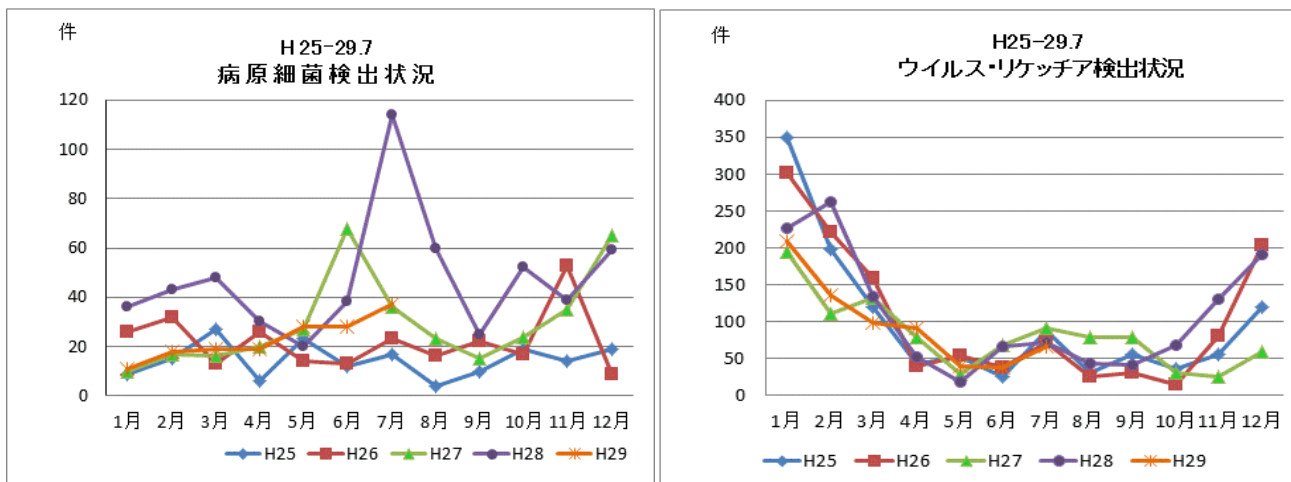
表1 病原体検出状況(保健所等別)－平成29年7月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査											病原体定点				合 計		
	平塚保健福祉事務所	秦野保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	茅ヶ崎市保健所	計	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)	14			2	1		1				18						18
	腸管病原性大腸菌(EPEC)												1					1
	カンピロバクター ジェジュニ			1					1			2						2
	赤痢菌 (S. sonnei)										1	1						1
	A群溶血レンサ球菌												11					11
	淋菌								1			1						1
	マイコプラズマ ニューモニエ												3					3
計	14		1	2	1			3		1	22	15					37	
ウイルス・リケッチア	コクサッキー A6									10	10	34						44
	コクサッキー A10											1						1
	A型肝炎							1 (1)			1 (1)							1 (1)
	パレコ 3								2		2							2
	ムンプス											1						1
	アデノ 2									1	1	1						2
	アデノ 3									3	3	3						6
	アデノ 37														1			1
	アデノ (型未決定)											1						1
	E B								1		1							1
	ノロ					3		1	2		6							6
サポ										1	1						1	
計					3		2 (1)	5	15	25 (1)	41		1				67 (1)	
合計	14		1	2	4		2 (1)	3	5	16	47 (1)	56		1			104 (1)	

海外渡航者数は(内数)として記載

<検出状況>

7月の病原体検出数は合計104件、細菌は37件、ウイルス・リケッチアは67件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が15件、ウイルスが41件、眼科定点からウイルスが1件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)―平成 29 年 7 月

	感 染 症														（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 頼 者 検 査 ） 査	合 計
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	バ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症			
検 査 検 体 数		65			82	20	4	3						1	10	1712	1897
腸管出血性大腸菌(EHEC)					18												18
腸管病原性大腸菌(EPEC)						1											1
カンピロバクター ジェジュニ															2		2
赤痢菌 ( <i>Shigella sonnei</i> )		1															1
A群溶血レンサ球菌						11											11
マイコプラズマ ニューモニエ								3									3
淋 菌																	1
計		1			18	11	1	3							2	1	37

- 赤痢患者の患者届出に伴う家族の検査 82 検体中 1 検体から赤痢菌 (*Shigella sonnei*) が検出された。
- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で、82 検体中 13 検体から腸管出血性大腸菌 O26(VT1) が、2 検体から O157(VT1)が、1 検体から O157(VT2)が、2 検体から O157(VT1&VT2)が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 20 検体中 11 検体から、A 群溶血レンサ球菌が検出された。血清型は、T1 が 2 検体、T3 が 1 検体、T12 が 5 検体、T25 が 1 検体、UT が 2 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 4 検体中 1 検体から腸管病原性大腸菌(EPEC) (血清型 OUT *eae*+) が検出された。
- マイコプラズマ肺炎患者 3 検体中 3 検体からマイコプラズマ ニューモニエが検出された。
- 食中毒様事例 (有症苦情含む) では、10 検体中 2 検体からカンピロバクター ジェジュニが検出された。
- 依頼検査では、1712 検体中 1 検体から淋菌が検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)―平成28年7月～平成29年7月

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	平成29年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	4	6	5	13	14	1	51						10	18	28
毒素原性大腸菌(ETEC)		2					2								
腸管病原性大腸菌(EPEC)		1					4		2					1	3
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)					1	1	2								
その他の大腸菌 ※	3	5	3	2	1	1	21						1		1
サルモネラ O4群							3								
サルモネラ O7群	1						1		1						1
サルモネラ O8群							3								
サルモネラ O13群				1			1								
腸炎ビブリオ		1					1								
エロモナス ハイドロフィラ							1								
カンピロバクター ジェジュニ	2	25	5	5	3	1	68	3		1	1	1	1	2	9
カンピロバクター コリ				1			2								
黄色ブドウ球菌	6	1		1		2	13				2				2
ウエルシュ菌	2			13	1	1	18								
赤痢菌 ( <i>S.sonnei</i> )														1	1
A群溶血レンサ球菌	6	6	2	4	12	7	95	5	12	17	13	19	14	11	91
エンテロкокカス フェシウム	2	5	1	1	4	39	122								
百日咳菌						1	2								
淋菌							1							1	1
クラミジア トラコマトイス	2	1		1			6	1	1	1	2	1			6
肺炎球菌							4								
マイコプラズマ ニューモニエ	8	5	8	8	2	2	49	1	2			6	2	3	14
レジオネラ属菌				1			1								
レジオネラ ニューモフィラ		2	1	1	1	3	13	1			1	1			3
その他の細菌	78						80								
合計	114	60	25	52	39	59	564	11	18	19	19	28	28	37	160

※:その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)



表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)―平成29年7月

検査検体数	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	感染症										その他	食中毒(有症苦情含む)様	合計
							咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎			
検査検体数							7	6	47		7		2		7	4	6	10	96
コクサッキー A6									39		5								44
コクサッキー A10									1										1
A型肝炎																	1 (1)	1 (1)	1 (1)
パレコ 3																	2		2
ムンプス												1							1
アデノ 2							1		1										2
アデノ 3							5				1								6
アデノ 37														1					1
アデノ(型未決定)								1											1
E B																1			1
ノロ									3										3
サポ									1										1
計							6	5	41		6		1		1	1	3 (1)	3	67 (1)

海外渡航者数は(内数)として記載

- 咽頭結膜熱患者7例中6例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス2型が1例、アデノウイルス3型が5例であった。
- 感染性胃腸炎患者6例中5例から下痢症の原因となるウイルスが検出された。その内訳は、ノロウイルス3例、サポウイルス1例、アデノウイルス1例であった。
- 手足口病患者47例中40例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が38例、コクサッキーウイルスA10型が1例、コクサッキーウイルスA6型およびアデノウイルス2型の同時検出が1例であった。
- ヘルパンギーナ患者7例中6例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が5例、アデノウイルス3型が1例であった。
- 流行性耳下腺炎患者2例中1例からムンプスウイルスが検出された。
- 流行性角結膜炎依頼7検体中1検体からアデノウイルス37型が検出された。
- 無菌性髄膜炎患者2例(4検体)中1例(1検体、咽頭ぬぐい液)からEBウイルスが検出された。
- その他の感染症6例のうちA型肝炎疑い患者1例から、A型肝炎ウイルスが検出された。患者には海外渡航歴(タイ王国)があった。また、流行性筋痛症患者1例(5検体)中2検体(咽頭ぬぐい液および便)からヒトパレコウイルス3型が検出された。
- 食中毒様事例(有症苦情含む)10検体中3検体からノロウイルスが検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成28年7月～平成29年7月

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	平成29年累計
インフルエンザ AH1pdm09					1	1	263	1	1	2		1	2		7
インフルエンザ AH3			5	14	39	93	196	164	98	35	9		2		308
インフルエンザ B				1		2	166	8	25	37	39	3	1		113
R S				2			2	2							2
コクサッキー A2	4	6		2			12								
コクサッキー A4	21	3	1				29								
コクサッキー A5	3	2					5								
コクサッキー A6	1	4	6	14	8		34	6				4	19	44	73
コクサッキー A10	13	6	3	1			24							1	1
コクサッキー A16	1	1	2	1			5								
コクサッキー B1						1	1								
コクサッキー B3	1	2		3			6								
コクサッキー B5	8	1	1	4			17								
エコー 3				2	3		5								
エコー 6			1	3		2	6	1							1
エコー 9				1	1	1	3								
エコー 11			3				3								
エコー 18	3	1					4								
エンテロ 71							1								
A型肝炎						1	2 (1)			1				1 (1)	2 (1)
E型肝炎									1						1
パレコ 3	6	3		4			21			3			1	2	6
ライノ	2	1	1	2			13	1		1		1	2		5
ムンプス	1	1	5	1	6		21	4	1		4	2	1	1	13
麻疹			8				8								
アデノ 1	1	1		1			9	1		1					2
アデノ 2	1				1	2	16	1	2	2		3	2	2	12
アデノ 3	1	2		1	1		11			1		8	2	6	17
アデノ 4		2				1	8	1							1
アデノ 5	1					1	5								
アデノ 19	1						1								
アデノ 37		1					1							1	1
アデノ 41			1	1	1	2	6								
アデノ 46			1				1								
アデノ 54	2	1	1			1	5								
アデノ(型未決定)											3	2		1	6
単純ヘルペス 1											1				1
水痘・带状疱疹							1						1		1
E B							1						1	1	2
サイトメガロ			1				3					3			3
ヒトヘルペス 6			1			1	4					2	1		3
ヒトヘルペス 7							3					1	1		2
ロ タ					1	3	6	2	1	2	2	1			8
ノ ロ	1		4	9	68	79	374	16	6	11	30	6	2	6	77
サ ボ							1							1	1
アストロ							1				4	3			7
デング			1(1)	1(1)			3 (3)	1 (1)	1 (1)	3 (2)					5 (4)
オリエンチア ツツガムシ					1		1								
合計	72	43	41 (1)	68 (1)	131	191	1308 (4)	209 (1)	136 (1)	99 (2)	92	40	38	67 (1)	681 (5)

海外渡航者数は(内数)として記載





表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 29 年 7 月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	7月			1~7月累計			7月				1~7月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数		177		41	808	27	31			105	64	81	52	193
腸管出血性大腸菌 (EHEC)														
その他の大腸菌 ※2					1				3					3
サルモネラ 04群														
サルモネラ 07群														
サルモネラ 08群														
サルモネラ 09群														
腸炎ビブリオ														
カンピロバクター ジェジュニ														
カンピロバクター コリ														
カンピロバクター ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌														
セレウス菌														
レジオネラ属菌													1	
レジオネラ ニューモフィラ 1群													4	
レジオネラ ニューモフィラ 2群													2	
レジオネラ ニューモフィラ 3群														
レジオネラ ニューモフィラ 4群													3	
レジオネラ ニューモフィラ 5群														
レジオネラ ニューモフィラ 6群													2	
レジオネラ ニューモフィラ 7群														
レジオネラ ニューモフィラ 8群														
レジオネラ ニューモフィラ 9群														
レジオネラ ニューモフィラ 10群														
レジオネラ ニューモフィラ 11群														
レジオネラ ニューモフィラ 12群														
レジオネラ ニューモフィラ 13群														
レジオネラ ゴルマニイ														
レジオネラ ミクダデイ														
レジオネラ デュモフィー														
検出菌計					1				3			12		3

※：河川水を含む。

※2：EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）  
プール水、エアコンの水等は、環境の「その他」に計上。

○ 環境その他検査 105 検体中、プール水 3 検体からその他の大腸菌が検出された。